

『世界の変わった税金』

私は税金と聞いて、真っ先に思い浮かぶのが消費税です。消費税は買い物をすると必ず支払う税金なので、高校生の私には一番身近な税金です。

私は高校の税金の授業で初めて知った税金がありました。それは、入湯税です。温泉に入るのが好きで、よく家族でいろいろな温泉に入りに行きます。授業で習うまでは、温泉に入るのにも税金を支払っているとは思いませんでした。ですが、入湯税で集めた税金は施設の整備、観光のための費用にあてられているということで、温泉がよりよいもの隣、利用客の増加に繋がると思うので、いい税金だと思いました。

日本には入湯税という、変わった税金があることを知り、ほかの外国にもそういった税金があるのか調べてみました。すると各国いろいろな税金がありました。例えば、イギリスの渋滞緩和のために導入された渋滞税やドイツの営業税、ブルガリアの独身税、オーストラリアの学位税。そのほかにも、肥満が社会問題となっているアメリカやハンガリーでは、ジャンクフード税やソーダ税、ポテトチップス税など肥満防止策として健康に悪影響な飲食物に課税し、健康増進につなげようとしている。健康増進という意味では、日本にはタバコ税があります。タバコは体に悪影響なもので、一度吸うとまた吸いたくなってしまう依存性の強いものです。これに高い税率をつけることで、禁煙の機会が増え、喫煙者が減る事で受動喫煙や吸い殻のポイ捨て、火災原因が減るという、よいところだらけです。なので今後のタバコ税増税に期待したいです。

平昌オリンピックでカーリング女子日本代表 LS 北見が、もぐもぐタイムで食べていた赤いサイロという北見市のお菓子が話題になりました。そこで注目されたのが、ふるさと納税です。赤いサイロは入手困難になったので、北見市のふるさと納税に寄付することでそのお礼品として赤いサイロがもらえます。ふるさと納税は、寄付する地域が自由に選べるので、自分の欲しいお礼品の地域に寄付できます。納税をすることで特産物をもらえるのはうれしい制度です。ふるさと納税のように納税することが楽しくなる税金がもっと増えることに期待したいです。